

平成 27 年 3 月 25 日制定

(平成 27 年 3 月 25 日吉田南総合図書館協議会承認)

平成 29 年 4 月 1 日一部改正

(平成 29 年 3 月 17 日吉田南総合図書館協議会承認)

平成 30 年 2 月 13 日一部改正

(平成 30 年 2 月 13 日吉田南総合図書館協議会承認)

令和 4 年 11 月 4 日一部改正

(令和 4 年 11 月 4 日吉田南総合図書館協議会承認)

## 京都大学吉田南総合図書館の位置付けと役割

### 【位置付け】

京都大学吉田南総合図書館は、京都大学の基本理念及び京都大学図書館機構の基本理念と目標に基づき、「エリア連携図書館」として、大学院人間・環境学研究科（総合人間学部を含む。）、大学院総合生存学館、国際高等教育院及び高等研究院（以下「関係部局」という。）における専門図書館の業務を共同化するとともに、本学の教養・共通教育を受ける学生を対象とする学習図書館の機能と役割を担う。

### 【役割】

1. 本図書館は、第三高等学校・教養部等の蔵書を受け継ぎつつ、学習、教育、研究活動の動向を反映し、国際化、情報化等に相応しい一般図書・雑誌、参考図書、貴重図書、視聴覚資料その他の資料（電子情報を含む。）を広く収集・保管し、それらの資料の提供を通じて関係部局の教育・研究活動及び本学の教養・共通教育に係る学習、教育活動を支援する。
2. 本図書館は、本学の基本理念のひとつである「多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる」を根源として、学習、教育、研究活動を支援する場の提供を行う。さらに、人々が互いに語らうことにより新たなアイデアを生み、表現することを期待する

学習空間や情報発信の場の提供を行う。

3. 本図書館は、学生の学術情報リテラシーの向上を支援する。
4. 本図書館は、学内サービスのみならず、資料や施設の公開、講演や展示などを通じて地域・社会に貢献する。
5. 本図書館は、以上の役割遂行に際し、外国人の教員、学生、研究者等をも念頭に置いた適切かつスムーズな対応を行うとともに、すべての利用者が有効かつ快適に活用できるように、図書館スタッフのスキル及びモチベーションの向上、管理・運営並びに設備及び施設の充実を図る。